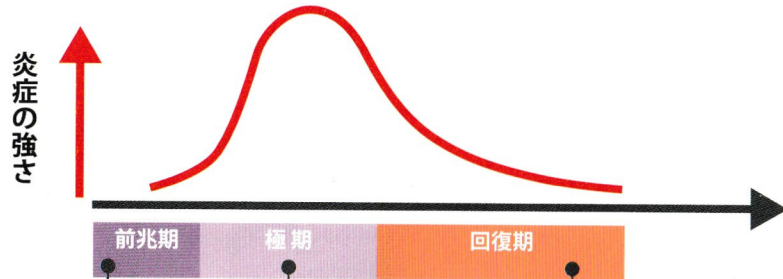


3 高尿酸血症と痛風にはどんな治療をする？

痛風発作（急性関節炎）の治療

痛風発作が起きたら、激痛を和らげるために関節の炎症を抑える治療を、発作が起きている間だけ行います。

痛風発作のときの薬の使い方(例)



痛風発作を抑えるために痛風発作予防薬*1を1錠服用

関節の炎症や痛みを抑えるために、非ステロイド抗炎症薬を短期間だけ大量に服用*2

痛みが持続する場合は、非ステロイド抗炎症薬の通常量を服用



*1 関節の違和感やむずむず感など発作の前触れがあるときに服用すると、発作を予防したり、軽減します。

*2 非ステロイド抗炎症薬が効かなかったり、使用できない場合には、ステロイド薬を使用します。

市販の痛み止めを服用した場合に、かえって症状が悪化することがあるので、自己判断で服用しないようにしましょう。

発作が起きたときの対処法

痛風発作が起きたら、患部を心臓より高くして冷やしましょう。温めたり、もんだりすると逆効果です。無理に歩き回るのも禁物です。

発作の対処法



尿酸値を下げる薬は発作が治まってから

痛風は尿酸値が高いために起きる病気ですが、発作の治療に尿酸値を下げる薬は使いません。痛風発作は、尿酸値が上がったときだけでなく、急に下がっても起きやすいのです。**発作中は尿酸値をなるべく変動させないことが原則。**発作が治まってから、尿酸値を下げる治療を始めます。

痛風の痛みは、尿酸値を下げる薬では治まらない!?



Check!

ただし、すでに尿酸値を下げる薬をきちんと服用している方が発作を起こした場合は、そのまま薬を続けてください。

